

# 「墓泥棒」遺族訴える

ガマフヤー

## 具志堅氏ら国と交渉



戦の戦没者を悼む「慰霊の日」を前に、沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」の具志堅隆松代表や遺族らと国の意見交換会が18日、東京・永田町の衆院第一議員会館で開かれた。父が亡くなったとされる洞窟にお参りしているという沖縄戦の遺族は「あそこは私たちにとってお墓。あなたたちは墓泥棒をしようとしている」と訴えた。

遺骨が混じる土砂を前に防衛省担当者に訴える具志堅氏

太平洋戦争末期の沖縄戦の戦没者を悼む「慰霊の日」を前に、沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」の具志堅隆松代表や遺族らと国の意見交換会が18日、東京・永田町の衆院第一議員会館で開かれた。父が亡くなったとされる洞窟にお参りしているという沖縄戦の遺族は「あそこは私たちにとってお墓。あなたたちは墓泥棒をしようとしている」と訴えた。

てに使う土砂の調達先に沖縄戦の激戦地だった本島南部が含まれる問題で、具志堅氏らは計画の撤回を求めている。本島南部・糸満市の摩文仁の丘下の洞窟付近で戦死した父の遺骨が見つからない福岡市の高向洋子さんは「洞窟のそばに孫を連れてお参りしている。あなたたちは墓荒らしをしようとしている」と非難した。

米軍のために使うのは矛盾だと指摘。岸田首相が沖縄を訪れるならば計画を撤回すべきだと述べ、「撤回を表明しないなら、抗議のハンカーストライキに入る」と20日から慰霊の日までハンストを行うと迫ったものの、防衛省担当者は「ご遺骨の問題は真摯に受け止める必要がある。こうしたことを踏まえながら適切に事業を進めていく」と明言を避ける従来の回答を繰り返した。

具志堅氏は23日の慰霊の日、岸田文雄首相が戦没者を追悼しながらも、遺骨の混じる土砂を米軍のために使うのは矛盾だと指摘。岸田首相が沖縄を訪れるならば計画を撤回すべきだと述べ、「撤回を表明しないなら、抗議のハンカーストライキに入る」と20日から慰霊の日までハンストを行うと迫ったものの、防衛省担当者は「ご遺骨の問題は真摯に受け止める必要がある。こうしたことを踏まえながら適切に事業を進めていく」と明言を避ける従来の回答を繰り返した。

具志堅氏は23日の慰霊の日、岸田文雄首相が戦没者を追悼しながらも、遺骨の混じる土砂を米軍のために使うのは矛盾だと指摘。岸田首相が沖縄を訪れるならば計画を撤回すべきだと述べ、「撤回を表明しないなら、抗議のハンカーストライキに入る」と20日から慰霊の日までハンストを行うと迫ったものの、防衛省担当者は「ご遺骨の問題は真摯に受け止める必要がある。こうしたことを踏まえながら適切に事業を進めていく」と明言を避ける従来の回答を繰り返した。

岸田首相は「適切」とす